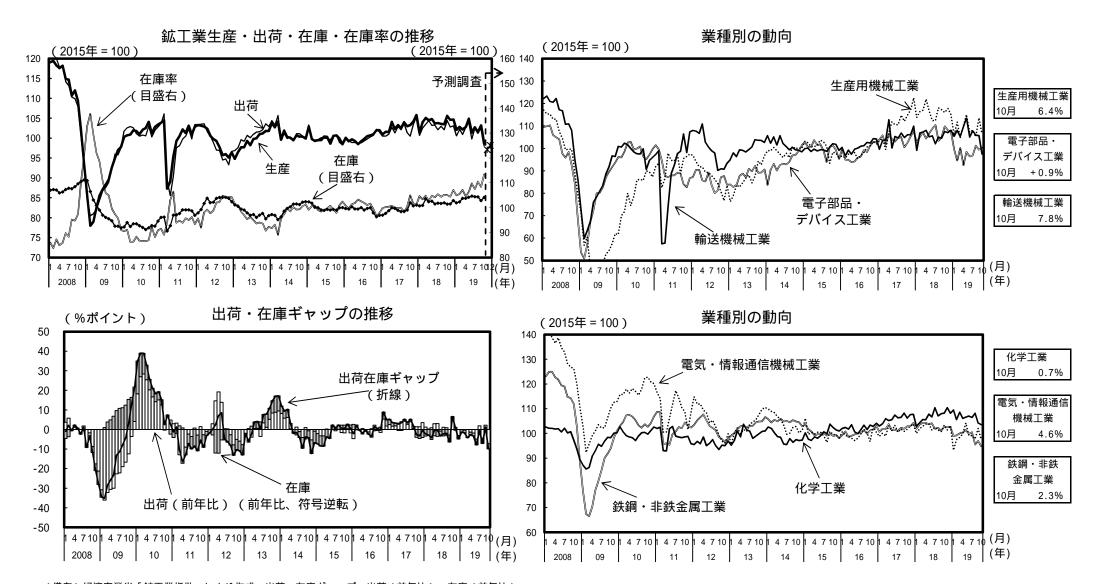
7.生産・出荷・在庫 生産は、一段と弱含んでいる。

(%)

	[2017年] 2017年度	[2018年] 2018年度	2019年 1 - 3月期	4 - 6月期	7 - 9月期	2019年 8月	9月	10月
鉱工業生産指数	[3.1]	[1.1]		(0.6)	(0.5)	(1.2)	(1.7)	(4.5)
	2.9	0.3	1.7	2.3	0.8	4.7	1.3	7.7
鉱工業出荷指数	[2.5]	[0.8]	(2.1)	(1.0)	(0.1)	(1.3)	(1.5)	(4.5)
	2.2	0.2	1.6	2.7	0.1	4.5	2.2	7.3
鉱工業在庫指数	[4.1]	[1.7]	(0.9)	(0.9)	(1.7)	(0.1)	(1.4)	(1.3)
	5.1	0.2	0.2	3.0	0.9	2.6	0.9	2.6
製造工業生産能力指数	[99.3]	[98.7]						
(2015年=100)	98.8	98.7	98.7	97.8	97.8	97.8	97.8	98.2
製造工業稼働率指数	[102.3]	[103.1]	(100.5)	(102.4)	(100.6)	(99.3)	(100.3)	(95.8)
(2015年=100)	102.7	102.5						
第3次産業	[0.8]	[1.1]	(0.0)	(0.2)	P (0.9)	(0.3)	P (2.3)	P(4.6)
活動指数	1.1	1.1	1.0	0.8	р 2.1	0.5	P 4.5	P 2.3

予測調査 11月 1.5% 12月 1.1%

- (備考)1.経済産業省「鉱工業指数」「製造工業生産予測調査」「第3次産業活動指数」により作成。Pは速報値。
 - 2.鉱工業生産・出荷・在庫指数、第3次産業活動指数の暦年・年度の下段は前年度比、上段の[]内は前年比。四半期・月次の下段は前年同期(月)比、上段の()内は季節調整済前期(月)比。
 - 3.製造工業生産能力指数の暦年・年度の下段は原数値(年度)、上段の[]内は原数値(暦年)。四半期次・月次は原数値。
 - 4.製造工業稼働率指数の暦年・年度の下段は原数値(年度)、上段の[]内は原数値(暦年)。四半期次・月次は季節調整値。



(備考)経済産業省「鉱工業指数」により作成。出荷・在庫ギャップ=出荷(前年比)-在庫(前年比)。